

令和4年度事業報告書概要（若洲海浜公園）
 指定管理者：若洲シーサイドパークグループ

1 管理状況

○ 適切な管理の履行

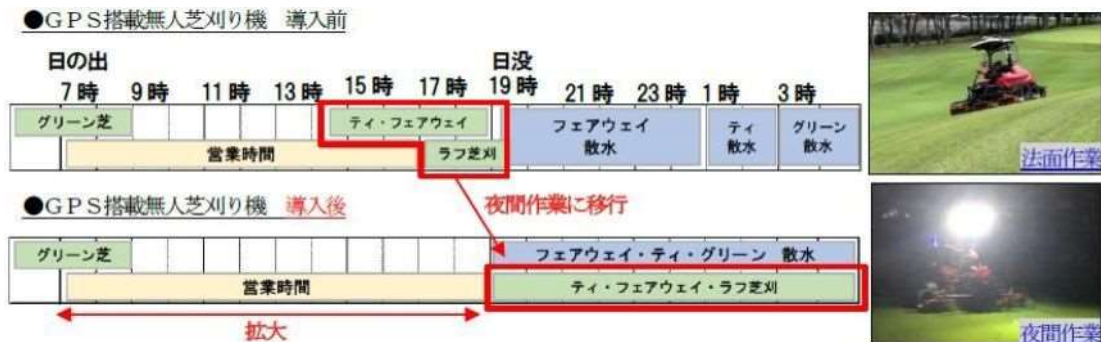
【ゴルフリンクス】

- ・清掃、消毒の徹底

総合管理センター周辺やトイレ等の清掃を基準を上回る回数実施しました。また、セクション同士でのチェック体制を取り入れたことで清掃の品質向上につなげました。

- ・先進機械の導入

ドローンでの撮影により前年度との比較や科学的見地でのモニタリングを行い、正確な芝の植生状態の把握や、的確な散水、施肥・施薬を実現したことで、一年を通し高いコースクオリティを維持しました。また、グリーンサブエアシステム（吸排気システム）により、芝を健全な状態に保ちました。さらにGPS搭載無人芝刈り機により夜間の刈込作業が安全かつ正確に実施でき、日中の作業を短縮することで利用枠を拡大することができました。



- ・マナー向上へ向けた取り組み

プレー時間の遅延や打球事故の発生を防ぐため、マナー宣誓書の配付（若洲グッドマナー宣言）を新たに実施しました。また放送や注意看板による注意喚起を強化し、誰もが楽しめる利用環境を提供しました。

【海釣り施設・関連園地】

- ・サイクリングロードの維持管理

樹木や藤棚の剪定、防球フェンスの蔓の除去などを行い、サイクリングロードの見通しを常時確保することで、利用者の安全・安心かつ快適な利用環境を提供しました。



○ 安全性の確保

- ・新型コロナウイルス感染症対策

国や都、関連団体のガイドラインに基づき、消毒や換気、飛沫防止のパーテーション設置などの対策を行ったほか、予約から精算まで若洲ゴルフリンクス独自のガイドラインを策定しました。また、釣り施設の利用者が増加したことから、利用者の間隔を2m確保する目安となる横断幕を設置したほか、ホームページやツイッターなどを活用して園内での路上飲みや大人数での飲食等の自粛を呼びかけました。



2 事業効果

○ 事業の取組

【ゴルフリンクス】

- ・プレイスタイルの多様化や利用者層の拡大への対応

ゴルフを気軽に楽しみたいという多様化するプレイスタイルのニーズに合わせ、セルフプレーや薄暮プレーの利用枠を拡大して設定するとともに、休場日を活用し都民や女性、シニアの優待デーを実施しました。また、初心者や若年層の利用者増加を受け、マナー向上を図るとともに、小中学生を対象とした「若洲ゴルフアカデミー」や「親子・シニアレッスン会」を開催し、更なるゴルフ需要の創出と利用者層の拡大を図りました。



練習場レッスン ビギナー枠の設置



若洲ゴルフアカデミー



親子・シニアレッスン会

【海釣り施設・関連園地】

- ・積極的な協働事業の推進

東京都釣りインストラクター連絡機構と江東区立若洲公園売店事業者との連携による定期的な釣り場クリーンアップ活動を行いました。さらに各種団体などとの共同で、釣り場やサイクリングロードの清掃活動や草刈りなど環境美化活動を行うとともに、自然体験学習を行いました。また、海洋資源の回復と釣りを楽しめる環境づくりに向けた取り組みとして、カサゴの稚魚1万尾の放流を行いました。活動については、SNSを通じて情報発信を行い、利用者の環境意識向上を図りました。



集合写真



作業中



○ 利用の状況

公園全体としては、前年度から利用者数が増加しました。特にゴルフ練習場は前年度の利用者数を更新し、平成18年度以降過去最高の利用者数となりました。また、海釣り施設も前年度を上回る利用者数となりました。

○ 行政目的の達成

- ・都施工工事への協力

若洲ゴルフリンクスのグリーン改修工事においては都や施工業者、その他関係者と綿密に連絡を取りながら工程調整や現場確認を実施し、施設利用に支障を出さず、安全かつ着実な施工に寄与しました。

- ・キャッシュレス決裁

都の施策であるキャッシュレスの取り組みに協力してキャッシュレスシステムを活用し、また自動販売機についても順次キャッシュレス対応に変更することで、利用者の利便性向上とキャッシュレスの普及に貢献しました。

| 3 収支状況（単位：千円） | | |
|---------------|-------|---------|
| 項目 | | 金額（税込） |
| 収入計 | | 755,595 |
| 内訳 | 指定管理料 | 0 |
| | 利用料金 | 755,595 |
| 支出計 | | 534,609 |
| 納付金 | | 203,332 |
| 収支差 | | 17,654 |

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。